

あなたのクラスで
やってみませんか!

ユニセフの

開発のための教育



「公平ってどんなこと?」

目的

「不公平」と感じるがあった時、それを解決するために、周囲と力を合わせ、どのように対処するか考える力を養い、また多角的に物事を見る目を養う。

人数 5人程度のグループで何グループでも。

所要時間の目安 60分

用意するもの 下の「状況カード」セットをグループ分。

状況カード1

ミーナは10歳の女の子です。勉強がしたいけれど学校に行かせてもらえません。弟のバスは学校に行っています。ミーナのお父さんとお母さんは、「女の子は結婚して家事をするのが仕事だから学校の勉強は必要ないのだ」と言います。

状況カード2

シェイの住んでいる地域で、住民の交流を深めるために、夏祭をすることになりました。この地域には外国人がたくさん住んでいます。祭のリーダーは、外国人と連絡し合うのはむずかしく手間がかかると言って、祭があることを知らせずに準備をすすめています。

状況カード3

あなたはスーパーへ買い物に行きました。お父さんはA国から輸入したオレンジが安かったので、A国のものをいくつか買いました。ある日、テレビでA国では農園の経営者が農民に低い賃金しか払わず、幼い子どもたちまで農園で働かせていると言うニュースが流れました。

状況カード4

朝、通勤、通学時間だったので、駅はとても混んでいました。車椅子の人が駅員の補助を受けて、階段を使っていました。その間、他の人たちは階段の使用に制限を受けました。

アクティビティのすすめかた



ステップ1 20分

カードを読んで、公平・不公平について考えてみる

- ① 全体の進行役と、グループでの進行役を決める。
- ② グループに「状況カード」を1セット配布する。
- ③ カードをよく読み、次の2つの状況に分ける。
 - (1) 公平だと思う状況
 - (2) 不公平だと思う状況

- ④ グループ内での話し合いを終えたら、参加者全体で、グループの話し合いの結果を報告し合う。
- ⑤ 全体進行役は、報告を聞きながら、次の内容を書き出す。
 - ◆自分たちが「公平」と分類したカードは、どのような点が公平なのか、またその理由。
 - ◆自分たちが「不公平」と分類したカードは、どのような点が不公平なのか、またその理由。
 - ◆「公平」「不公平」どちらにも決められないカードはあったかどうか、またその理由。

ステップ2 40分

不公平にどのように対応するか考えてみる

- ① 全体進行役は「不公平」に分類された事例を一つずつ読み上げる。
- ② 事例が読み上げられるごとに、各グループで話し合う。話し合う時は、下記の点に注意しながら考え、意見を出し合う。(5~10分程度)
 - ◆もし自分が不公平な扱いをされる立場になったら、どのように感じると思いますか?
 - ◆不公平のために困難な状況にある人たちが、今の自分から遠くにいる場合、自分にはどのようなことができますか?
 - ◆それは、すぐに行動できることですか? 時間がかかることですか?
- ③ 参加者全体で、どのような意見になったかを発表し合う。

バリエーション

ステップ2について、取り組みにどのくらい時間がかかるか、分類しながら、さらに考えてみましょう。(たとえば、短期-1年未満、中期-1年~2年まで、長期-2年以上)

- すぐに状況を変えられるのはどのようなことですか?
- 協力し合うことで、状況を打破するための時間が短くできることがありますか?

授業に活かそう 「公平」を知るアクティビティ

さらに、さまざまな課題で考えてみるができます。

- 「平等」と「公平」の違い
- 社会における男性と女性、少数民族など。
- 自分の身の回りや、本、漫画、テレビのバラエティ番組、ドラマ、ニュース、新聞記事で見聞きしたことで、「誰がどのように扱われているか」「誰が誰に対してどのような態度を示しているか」「誰の誰に対する態度が高く評価できるか」「誰が誰に対して不平等な扱いをしているか」というような内容を素材にして、同じような状況カードを作り、アクティビティを行ってみる。

毎回、アクティビティをご紹介します。ぜひ、「やってみましたアクティビティ」のご報告をお待ちしています。